

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	習熟度別	共通	2

教科書（発行所）	CREATIVE English Communication Ⅱ（第一学習社）
教科書以外の教材	1 英作基本文例 600（啓隆社） 2 単語帳（LEAP）

学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。		
---------	--	--	--

学期	学習事項	学習内容(記号は評価の観点)	考查等
1 学 期	Lesson1 Voice for Action 助動詞／分詞構文／内容に応じた音読	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項を理解し、活用できる。(ア)・国連ユース気候サミットの活動とメッセージを的確に理解し、内容を整理して伝えることができる。(イ)・環境保護のための活動について説明する。(ウ) ・動物の睡眠についての確に理解し、内容を整理して伝えることができる。(イ)・インタビューにおける注意点を理解しようとしている。(ウ) ・アスリートのスピーチの特徴を理解し、内容を整理して伝えることができる。(イ)・効果的なスピーチを理解し、わかりやすくスピーチする。(ウ) 	中間考查
	Lesson 2 Aren't you Seepy? 分詞構文(受け身)／副詞節(S+be)の省略／未知語の推測		期末考查
	Lesson 3 Becoming Attractive to Your Audience 関係代名詞(非制限用法)／仮定法／文章の展開(列挙)		期末考查
2 学 期	Lesson 4 Are you prepared? 助動詞+have+過去分詞／完了不定詞／例示・追加	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項を理解し、活用できる。(ア)・自然災害と防災についての確に理解し、内容を整理して伝えることができる。(イ)・効果的なスピーチを理解し、わかりやすくスピーチしようとしている。(ウ) ・本および世界の元号についての確に理解し、内容を整理して伝えることができる。(イ)・ディスカッションの役割分担を理解しようとしている。(ウ) ・フードロス・フードウェイストの問題を理解し、内容を整理して伝えることができる。(イ)・アンケートに質問項目を追加し、わかりやすくその理由を説明する。(ウ) ・南谷真鈴さんの冒険とメッセージについて理解し、その内容を整理して伝えることができる。(イ)・プレゼンテーションの注意点を理解し、わかりやすく目標や行動計画を説明する。(ウ) 	課題考查
	Lesson 5 The Era of Beautiful Harmony 関係代名詞(非制限用法)／同格 that /同格表現、言いかえ表現		中間考查
	Lesson 6 Actions to Reduce Loss and Waste 完了形の分詞構文／複合関係詞／文章の展開 対照		期末考查
3 学 期	Lesson 7 Living with Adventure 仮定法／否定語＋倒置／やりとりをうまく継続させるには	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項理解を理解し、活用できる。(ア)・電池の発展についての確に理解し、内容を整理して伝えることができる。(イ)・創造的であるために何が必要かを説明できる。(ウ) ・オーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式について理解し、内容を整理して伝えることができる(イ)・旅行の写真を SNS に挙げるべきかについて、自分の意見を複数のパラグラフでわかりやすく書く。(ウ) 	課題考查
	Lesson 8 Power to the People 独立不定詞・独立分詞構文／条件を表す仮定法／文章の展開 時間的順序		学年末考查
Lesson 9 Traveling This Beautiful Planet 前置詞＋関係代名詞／強調構文／パラグラフの役割			

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<ol style="list-style-type: none"> 1 提出物・宿題は期限をきちんと守る。 2 日本語と英語の音の違いを学んで、声に出して読む練習をする。音読を積極的に取り入れる。 3 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 4 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらせず、説明を集中して聞き、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。 5 言語は自分で努力をして学んだもの以外は身につかない。必ず予習をして授業に臨み、その日のうちに復習をすること。予習→授業で確認→復習のサイクルを身につけて繰り返すことが確かな英語の力となる。
----------------------	---

評価の観点	ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価の方法	授業時の観察・定期考查・課題確認テスト(小テスト)・インタビューテスト・日々題・週課題、授業に臨む姿勢や意欲及びパフォーマンス評価・自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		

